

昭和 33 年 12 月 25 日第 3 種郵便物認可
平成 28 年 1 月 1 日発行 毎月 1 日発行
KENCHIKU SHIZUOKA

建築静岡

Kenchiku Shizuoka

新年号 2016 Winter No.655



特集

- 静岡県の世界遺産+気になるアソコ
- 第 6 回高校生の「建築甲子園」静岡予選大会
- 第 8 回静岡県景観賞



公益社団法人静岡県建築士会

Shizuoka Association of Architects & Building Engineers

<http://www.shizu-shikai.com>

Contents

1 目次

■新年の挨拶

- 2 (公社) 静岡県建築士会会長 佐藤博行
静岡県くらし・環境部建築住宅局長 柳 敏幸

■委員会活動報告

- 3 全国大会
本会青年企画委員長 甲斐治喜
東部ブロック事業研修委員長 藤本文彦

■特集1

- 4 静岡県の世界遺産+気になるアソコ
富士山—信仰の対象と芸術の源泉
韮山反射炉—明治日本の産業革命
沼津市 高尾山古墳
掛川市 大日本報徳舎大講堂
NPO 法人静岡県建築技術安全支援センター

■特集2

- 7 第6回高校生の「建築甲子園」静岡予選大会
「交流の懸け橋」図書交換所
シニアシェアハウス～第三の老後生活～
力を与える育つ家
和ンモアタイム
富士宮の空き家をレストランに
k a g e y a m a 家改造計画
古 民 古 書
徒歩圏～最小から生まれる最適な暮らし～

■コラム

- 10 コーヒーブレイク
“アゴスチーニになれなかった” 「東部ブロック」
“雪山王に俺はなる” 「西部ブロック」

■シリーズ

- 11 ハイブリット社会を生きる
住宅資産研究所 倉田剛

■特集3

- 12 第8回静岡県景観賞
静岡県草薙総合運動場体育館「このはなアリーナ」
san grams green tea & garden cafe
豊田佐吉記念館
箱根西麓に広がる畑のキャンパス
坂口谷川(さぐちやがわ)環境美化活動

■シリーズ

- 14 まちづくり—地域貢献通信
まちづくり委員会 委員 片桐秀夫

■シリーズ

- 15 景観整備機構【瓦版】 第73回
景観整備機構 副代表 塩見寛

- 16 平成28年 静岡県建築士会 新春名刺交換

■お知らせ、編集後記

- 18 事務局からのお知らせ、入退会者
編集後記・ご意見募集

■表紙／ 富士山測候所

1932年に富士山頂剣ヶ峰に富士山測候所が設置されました。その後、1964年に日本に接近する台風を観測することを目的としてドーム形レーダーが増設されました。これが、富士山頂のシンボルとなる通称「富士山レーダー」です。

その後、気象衛星の発達などにより、富士山でのレーダー観測は1999年に廃止されました。現在は、自動気象観測装置による気象観測が無人で行われています。

レーダードームがない現状の測候所は、ちょっとさびしい気がします。

廃止されたレーダードームは山梨県富士吉田市の富士山レーダードーム館(道の駅富士吉田に隣接)に展示されています。

地盤調査からコンクリート杭・PC基礎の
製造・施工まで対応

目立たない安心を お届けします



NOMURA
Since 1922

株式会社
野村商店

基礎事業部 TEL.054-284-3461
伊東営業所 TEL.0557-45-2245
伊豆南営業所 TEL.0558-22-3655
熱海営業所 TEL.0557-82-1244
伊豆中央営業所 TEL.0558-76-3114
東部営業所 TEL.0550-83-1306
沼津営業所 TEL.055-941-7020
静岡営業所 TEL.054-284-3461
浜松営業所 TEL.053-422-3636

詳しくは、ホームページで ▶ 野村商店 🔍

www.nomuragroup.com

平成28年の年頭に あたり

公益社団法人
静岡県建築士会

会長／佐藤博行



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。ここに謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

日頃より、公益社団法人静岡県建築士会の運営に対しまして、大変多くの御支援、御協力を頂き心より感謝、御礼申し上げます。

昨年は、関東地方を襲った大きな水害や竜巻等の自然災害や、IS国を名乗る関係者による旅客機の爆破、パリ市内の無差別銃撃、爆破とマスコミに大きく取り上げられる事件がいとまなくおこり、我々の心を暗くするニュースが多かった一年でした。

そして、建築業界の信用の根幹にかかわる大変大きなニュースが、基礎杭のデータ偽装の問題でした。この事件は、基礎杭のデータ偽装や施工ミスや、その隠蔽で済まされるものではなく、又、販売元による建替えですべてが完結する問題ではありません。施工、設計、監理を含んだ我々建築士の未来が、そして建築業界全体の信用が絡んだ大きな問題だろうと考えます。

姉歯事件により大変大きな信用を失った建築業界が、少しは信用回復に向かって来たかなと思いはじめた昨今でしたが、又々大きな津波に曝されることとなります。

昨年の御挨拶でも申し上げましたが、我々建築士は一層の自己研鑽に励みその技術と能

力を十分に発揮し、建築士の信用回復と更なる向上に努めるときと思います。其の為には資格者団体として建築士会からの情報提供や、研修をより充実しなければならないと考えています。

当建築士会も公益法人として5年目を迎えますが、今年はブロックの活動を会員の為に今以上に充実した運営となるようお願いし、一層の飛躍の年になればと思います。然しながら財政上の困難さがここ数年続いており、行政受託事業も年々減少傾向にあることは御存じの事と思います。本来は会費での運営が最上と考えますが、其のためには会費未納の問題が会務運営に大きな支障となります。是非とも、会員全員の銀行口座からの自動引き落としを強くお願いいたします。

建築士会は資格者個人の集まりですが、その一人ひとりの力を十分に発揮させるには、先ず建築士会に於いてその環境づくりをしなければなりません。然しその静岡県建築士会を動かしているのは偏に会員の皆様の熱意であります。今後とも会務運営に役員一同、より一層務めてまいりますので、会員の皆様には御支援御協力を重ねてお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとって健康で、明るく、そしてますますの御発展の年となりますことを祈念申し上げ、年頭の御挨拶といたします。

新しい年を迎えて

静岡県くらし・環境部
建築住宅局長／柳 敏幸



あけましておめでとうございます。

公益社団法人静岡県建築士会の皆様におかれましては、爽やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、県の建築住宅行政の推進につきまして、格別の御支援、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、免震材料に係る不正事案や杭の施工データの流用等が全国的な社会問題に発展し、行政も含めた建築業界全体に対して、世間の厳しい目が向けられております。県民に安全で安心な建築物を提供するため、引き続き建築物の適正な設計・工事監理に御協力をお願いいたします。

平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓に策定した「第4次地震被害想定」では、南海トラフ巨大地震により、津波による被害とともに、地震の揺れによる建物倒壊により、多大な人的・経済的被害が発生すると想定しております。

県では、巨大地震により想定される犠牲者を8割減少させるためには、引き続き、住宅・建築物の耐震化の促進が重要であると認識しており、現在、「静岡県耐震改修促進計画」の改訂作業を進めているところです。

木造住宅の耐震化プロジェクト「TOUKA I-0」につきましては、貴会の積極的な活動により、今年度末までの耐震補強助成戸

数2万戸の目標が概ね達成の状況ではあります。犠牲者を減らすためには、更なる取組の強化が必要なことから、貴会におかれましては、今後とも卓越した組織力と技術力をいかに発揮していただき、住宅等の耐震化の推進に御協力をお願いいたします。

一方、少子高齢化、人口減少社会の到来や都市部への人口移動などにより、空き家が全国的に増加しており、適正に管理されない老朽化した空き家は、防災や景観の悪化等、周辺地域への悪影響が懸念され、今後の対応が課題となっております。

平成27年5月26日には「空き家等対策の推進に関する特別措置法」が全部施行されました。

空き家等対策を推進するためには、民間との連携が重要であることから、官民一体となって空き家対策に取り組んでいく体制を整え、今後様々な検討を進め、空き家等対策を推進していきますので、重ねて御協力をお願いいたします。

今後とも住宅や建築物の安全性と信頼性を確保するため、一層の御尽力と御協力をお願いするとともに、貴会の御発展と会員の皆様の御繁栄、御健勝を祈念し、新年の挨拶といたします。

本会青年企画委員会活動報告

第58回建築士会全国大会石川大会

本会青年企画委員長 甲斐 治喜

去る 10/30 に第 58 回建築士会全国大会石川大会が、また、その前日には建築士フォーラムが開催され、県内青年建築士 8 名が参加しました。建築士フォーラムとは、全国の青年建築士が一同に集まり、各地で行なわれている地域実践活動を発表しあい、また、意見交換することで、その活動をさらに発展させ、そしてその発表の中から自分達の活動のヒントになるものを持って帰るというイベントで、今回で 6 回目となります。ちなみに先日行なわれた一級建築士設計製図試験課題建物見学研修会はこの建築士フォーラムの発表を聞き、参考にしており、静岡県だけでなく、全国各地で開催されています。発表だけでなく、参加者の投票により 1 位となった県は翌日の大会式典で表彰されると言う事もあり、力の、そして熱がこもった発表をしていました。1 位となったのは関東甲信越ブロック代表長野県でしたが、どこも素晴らしい活動を行なっており、静岡も負けてられないな、と思いました。その後の懇親会も、各ブロックの PR タイムや来年開催の大分大会の PR もされ、大盛況に終わりました。

翌日には 3 委員会交流セッションに参加。これは連合会の青年、女性、まちづくり委員会が合同で行なうセッションで昨年から行なわれています。ここでは「未来につなぐまちづくり」をテーマに各委員会の活動内容を発表し、各地域での今後の活動の参考となる情報発信の場となっています。

今回は石川県での開催と言う事もあり、同じ東海北陸ブロックの仲間と一緒に、青年担当の行事で運営のお手伝いもしました。静岡県での開催も近い、との話もあり、運営の参考に、そのときには東海北陸ブロックのお力をお借りできればと思いお手伝いしてきました。

来年は大分県別府市で開催ですが、こういう時でないとなかなか行く機会がないと思いますので、皆さんぜひ参加しましょう。

参加した皆さんお疲れさまでした。



東部B事業委員会活動報告

平成27年度 研修見学会

東部ブロック事業研修委員長 藤本文彦

東部B研修見学会として、全国大会開催に合わせて平成 27 年 10 月 30 日～31 日に金沢、富山、岐阜方面に研修見学会を開催しました。

参加人数は 28 名と、数多くの参加者でした。



全国大会会場前にて

今回は全国大会にて東部ブロック長の西山氏が表彰をされるとの事だったので大会に参加をしました。



会場の県立音楽堂には全国よりの建築士が参加です

2 日目は、国宝端龍寺拝観、菅野家住宅、五箇山集落見学等の見学を行いました。



次年度も研修見学会など行う予定です。多くの参加者をお待ちしています。



山梨県との県境 雨ヶ岳より

■富士山—信仰の対象と芸術の源泉

三保松原も含めて2013年に世界文化遺産に登録されました。そんな富士山を一周してみました。各方向からの富士山をお楽しみください。

富士宮市に2017年の完成を目指し、富士山世界遺産センター(株式会社坂茂建築設計・円すい状の逆さ富士を表現した構造物の設置が特徴)が計画中です。公募型プロポーザルにより、最優秀賞に選ばれた作品です。他の作品も含めて、静岡県のホームページで確認できます。

(https://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-150/sentakentiku_puopokouhyou.html)



県の東 小山町より



富士の茶畑より



伊豆 達磨山より駿河湾越しの富士山

三保の松原で食べる静岡おでん
みそだれがごうま!!静岡おでんというよりも遠州のみそ田楽にも通ずるものがあるような気がする?



■ 韮山反射炉 伊豆の国市

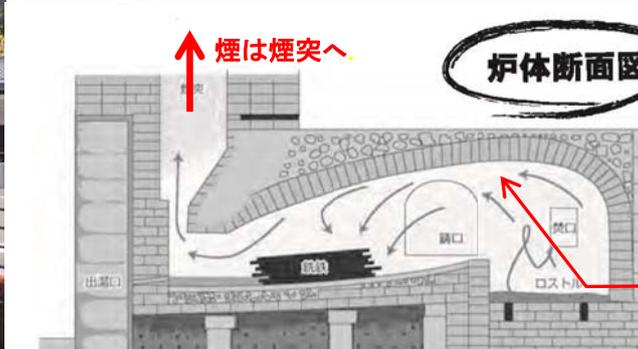
嘉永6年（1853）のペリー艦隊の来航を受けて、幕府が海防体制の強化の為に品川台場及び反射炉の建造を始めました。当初は下田に建設を予定していたのですが、安政元年（1854）3月にペリー艦隊が下田に入港し、急遽建設地を韮山に変更して、安政4年（1857）に連双2基4炉の韮山反射炉が完成しました。

なお、反射炉の外観上の特徴の鉄骨フレームは、昭和32年と平成元年の耐震補強の為に取り付けられたものであり、建設時は漆喰仕上げとしていたため、白亜の塔と呼ばれていました。

2015年に「明治日本の産業革命遺産」として、端島（通称軍艦島）などとともに世界文化遺産に登録されました。



近接して鳴沢蔵屋の反射炉物産館があり、資料の展示やお土産物売り場などがあります



鉄を溶かす1000度以上の高温を、この天井で炎と熱を反射させ集中させることにより、実現させました。そのしくみから、反射炉とよばれています。

■ 高尾山古墳 沼津市 ヒミココ？

高尾山古墳は沼津市東熊堂にある前方後方墳。古墳時代初期の西暦230年頃の築造と推定されている。現在、古墳東側にある熊野神社と高尾山徳見神社が計画道路により遷座されるまで、墳頂にあり古くから神社下は古墳であると伝えられていた。遷座された際に小山から古墳の遺構が見つかり、小山が古墳である事が正式に確認された。

古墳の大きさ（墳丘長約60m）は古墳時代初期としては、東日本で最大級であり出土品からも被葬者は大きな力を持っていたスルガ地域の王ではないかとされ、邪馬台国の卑弥呼が西暦248年頃に死去したとされる事や、卑弥呼の墓と推定される箸墓古墳を初めヤマト王権の古墳では前方後円墳である事に対して、それと異なる前方後方墳である事など、スルガ地域の独自性が見られる事から「魏志」倭人伝において卑弥呼と戦ったと記される狗奴国王の卑弥弓呼（ひみここ）ではないかとする説もある。



遷座された熊野神社と高尾山徳見神社



早急に周辺の整備が行われる事を期待しています。



熊手を初め多くの出店が立ち並び、祭典は夜通し行われる



毎年11月末の土、日曜日に両神社で行われる「高尾山祭典」は160年以上の歴史があり、商売繁盛の神様として、境内と神社周辺に熊手を販売する出店をはじめ多くの出店 が立ち夜通し祭典は行われる。

計画道路予定地に古墳がある為に保存か建設かの議論がおり、現在、古墳保存と道路建設の両立を目指した施策が検討されている。

■大日本報徳舎 大講堂 掛川市 国指定重要文化財

1907年（明治40年）4月5日に竣工した公会堂は現在大講堂として使用されており、2009年（平成21年）6月30日、国の重要文化財に指定されました。正門をくぐると正面に建っているのが大講堂です。日本瓦の大屋根、漆喰塗りの外壁、洋風の丸みのある窓等、荘厳な重みを感じられる和洋折衷の建物です。この大講堂は、報徳運動の拠点として明治36年に建設され、当初は「遠江国報徳社農学社公会堂」と呼ばれていました。公会堂として建てられた建物では日本で2番目に建築され、現存する公会堂としては最古の建築物となるため、貴重な文化施設です。



仰徳(コウトク)学舎 静岡県指定文化財



大講堂 国指定重要文化財
明治40年造



報徳図書館
静岡県指定文化財
昭和2年造のRC建物



翼北(キホク)学舎
静岡県指定文化財



仰徳(コウトク)記念館 静岡県指定文化財
明治17年造

大講堂のほかに、静岡県指定文化財となっている建造物が5棟あります。特に、仰徳(コウトク)記念館は大講堂よりも古く、明治17年に東京霞ヶ関に倒幕軍の総大将有栖川宮熈穂仁(たるひと)親王邸として建てられた数少ない工部省設計の宮廷建築です。ここを借りて結婚式を挙げることができるようです。それはもう、貴族の気分になること間違いなしです。

■NPO法人 静岡県建築技術安心支援センター 静岡市

昨年6月より構造に関する適合判定を確認申請とは別に申請することになりました。もしかしら建築士会会員にとっては、世界遺産よりも今は気になる存在かも？ 確認申請と同じ代理者であることが理想なので、意匠設計の方が適判判定の申請手续をするのがスムーズのようです。最初の提出は申請書・意匠図・構造図・構造計算一式を1部でOK、訂正完了後に正式に正副2部提出→受付→代金振込となります。気になるセンターの場所を御案内します。

申請書類など、詳しくはホームページで <http://www.skgass.jp/>



静岡市江川町交差点、セノバの斜め向かい「安藤ハザマビル」の4Fにセンターはあります。



左にまがる

入口は東側お堀沿いになります！



運がよければお堀沿いの路上パーキングが使えます！



自動ドアに入って、右側のEVに乗って4Fに向かいます！！
ちなみに7Fは事務所協会です。



EV



案内犬 翔太郎♀(3才)

到着です！
EVを降りて、正面の黄色の花が目印です！

ちなみに柱が大きくてバランスのいい建物はスパンや高さによらず、適判申請ルートから除外可能です。構造設計者とよく打ち合わせしましょう！

本会青年企画委員会事業報告

第6回高校生の「建築甲子園」静岡予選大会

本会青年企画委員長 甲斐 治喜

少しづつ冬の気配が近づいてくるこの季節。恒例となった高校生の「建築甲子園」静岡予選会が行われました。

今年度は11月14日、静岡市駿河区にある静岡県立中央図書館3階会議室を審査会場とし、昨年度を超える作品数、5校8作品が集まりました。特に県立富岳館高校は今年で最後、ということもあり3作品を提出。

今回は「地域のくらし-空き家を活かす-」がテーマです。「空き家」という全国的に対策に取り組み、タイムリーなテーマとなっています。「空き家」と言えば住宅を思い浮かべますが、応募要項には住宅でなくても構いません、との一文があり、そこに目を

つけ、そんなのとても思いつかないよ、という作品もありました。また、「空き家」という具体的なテーマが示されたこともあり、理解度が高く、各校の作品レベルも上がっていて、審査する方もどの作品を選出するか頭を悩ませていました。

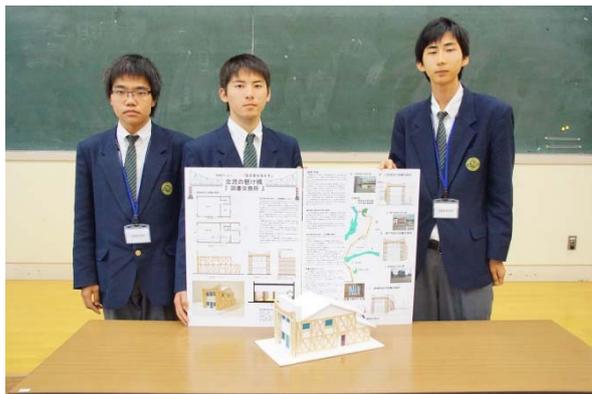
今年の静岡県代表は天竜高等学校・チーム天竜の「交流の懸け橋」が選ばれました。審査会が終わった後は短い時間ですが、学生同士の交流会も行いました。来年はどんな作品が集まるのか楽しみです。

参加して下さった学生さん、そして佐藤会長を始め審査会の運営に携わって下さった皆さんありがとうございました。

チーム名 天竜

作品名 「交流の懸け橋」図書交換所

天竜地区は人口の減少と大型店舗が周囲に進出したことにより、個人商店の空き家が増えました。寂しくなった街並みに少しでも人が行きかい、地域の人達との交流を増やすというテーマで考案したのが「交流の懸け橋」図書交換所です。近年天竜区で行われる行事は参加者の高齢化が進んでおり、若い世代の参加率が減少しています。これも地域との交流がほとんどないからです。そこで私達若い世代である学生が積極的に地域との交流を深められるように、通学路にこの図書交換所を設け地域の情報を入手しやすくすることで、行事に参加して貰うというのが狙いです。地域に活気が戻った時に、交流の為に必要不可欠な場所として多くの人から愛される場所となるはずです。



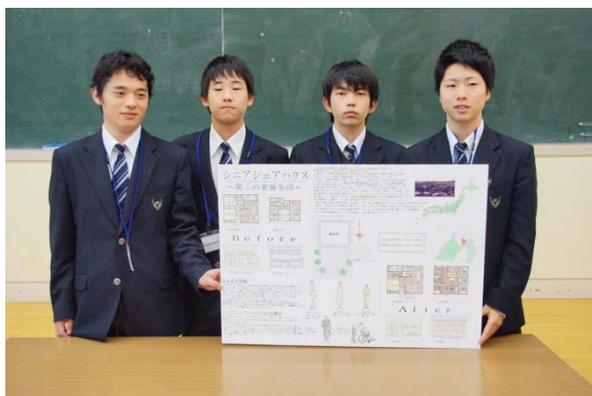
静岡県立天竜高等学校

選手3名(監督 太田武先生)

チーム名 ものづくりB

作品名 シニアシェアハウス～第三の老後生活～

現在、私達の住んでいる町では1人で住む高齢者が多く見られ、老人ホームなどの介護施設が足りていないことを知りました。そこで私達は彼らが1つの住居に集い楽しく元気に日々の生活を送ることのできる家を提案しようと思いました。この私達が提案する家は、2階建ての空き家をエレベーターやスロープをつけバリアフリー化しました。また、2階には1人1人の個室を設け個人のプライベート空間にしました。1階では、皆が遊んだり会話をしたりと憩いの場にしました。大きな庭で家庭菜園やガーデニングなど趣味も楽しめます。



静岡県立富岳館高等学校

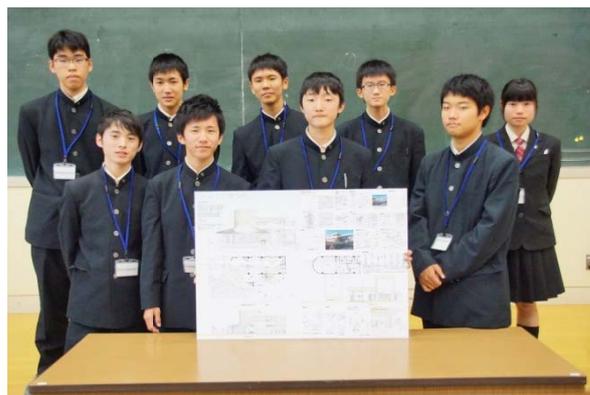
選手8名(監督 水野純介先生)

チーム名 建築デザイン科・建築研究部 1年

作品名 力を与える育つ家

力を与える育つ家。そのガソリンスタンドは、車にエネルギーを与えていた。空き家となった今、その姿を見ることはできない。ここで再びエネルギーを与える力を蘇らせる。今度は、車ではなく地域にエネルギーを与える。島田市で昔から続く、鬻祭りと帯祭り。忘れられつつある女性を大切に思う気持ち。女性を大切にすることで子宝にも恵まれる。子は宝。子育ては幸育て。

ここで再び、女性を大切に思う気持ちを蘇らせる。ガソリンスタンドの持つ開放感や強さを活かす。地域にエネルギーを与え、地域に寄り添う子育て支援の住まいの提案。



静岡県立科学技術高等学校
選手 10名 (監督 藤井邦光 先生)

チーム名 工業テクノロジー系列

作品名 和ン モア タイム

この作品は、海外から来た富士登山客を対象にしたウィークリーマンションの様に使うことの出来る家を考えながらつくりました。長期滞在者を対象にした理由は、富士山の天候は変わりやすく登山できない場合もある。しかし、富士宮市にはホテルの数が極めて少なく登山客を受け入れることが難しい状態です。また、ホテルに泊まるだけではその国や地域を味わうことが出来ません。現在ある空き家や空き店舗を利用し、町全体に宿泊棟を離散的につくる事により観光客や登山客を滞在させる事が可能になります。外国人に宿泊してもらうために、靴を脱いで家に上がることなどの日本の生活を残し、和室には囲炉裏や日本庭園をつくり、日本の「和」を感じてもらうように設計しました。



静岡県立富岳館高等学校
選手 4名 (監督 水野絢介 先生)

チーム名 ものづくり A

作品名 富士宮の空き家をレストランに

富士宮の空き家をレストランにというテーマでこの作品をつくりました。なぜこの空き家をレストランにしたかという、飲食店が少ないので作りました。小さい子供もつれて来ても安心して食事ができるように、レストランの2階には個室を作り、多人数でパーティーのできるような大きな部屋もつくりました。まず、元ガレージだった所をたくさんのお客さんを収容できるような席にして、2階にあったリビングや寝室を利用して個室をつくりました。風呂、洗面所のところをつなげて広くし、お年寄りも余裕をもって使えるような広いトイレをつくりました。2階にあった寝室と和室の部屋を1階の客席より多く座ることができるように、座布団と机の数を多くした客室にしました。



静岡県立富岳館高等学校
選手 8名 (監督 水野絢介 先生)

チーム名 Jhon Kageyama

作品名 Kageyama家改造計画

現在、浜松市の浜名湖周辺では、若い世代の人達が他の土地へ移り住み、空き家が増えてしまうという現象が見受けられている。このままでは、様々な特産物があるにもかかわらず、後継者の数が減少していき、それらが危機におちいってしまう。そこで私たちは、浜名湖周辺にある1つの空き家を、改築してその周辺に住んでいる方々や、釣りをしに来た方々が気軽に休憩や食事、宿泊をしたり、その土地でとれた野菜や果物、魚介類などを購入したりと、様々な目的で利用することが出来る施設へと改築することにした。この施設が出来れば、訪れた人同士の会話がはずみ、地域での交流が活性化され、他の土地へ移り住む人の数が減少すると考える。浜名湖周辺に「空き家力がついた」提案となっている。



静岡県立浜松工業高等学校
選手 5名 (監督 大井詳子 先生)

チーム名 島田工業

作品名 古民古書

過疎化が進行している地域では、一般的に、他の地域から若い人を呼び込むことで、地域の活性化を図る例が多く見られます。それも1つの手段ですが、そこに安易な他力本願の気持ちはないでしょうか？今回私たちは、空き家を活かすにあたり、地域内の子どもたちや、お年寄りの方々たちを対象とした図書館を提案します。自ら集まり、自ら地域を活性化していく「自力」をテーマとし、そこにしかない記憶や歴史に寄り添った、他力とは違う施設を目指しています。今回改修した家以外にも、この地域では同じように使われなくなった家があります。それらもまた、改修することによって記憶のネットワークをつくっていかれると思います。



静岡県立島田工業高等学校
選手 2名 (監督 坂本真生 先生)

チーム名 建築デザイン科・建築研究部 3年

作品名 徒歩圏～最小から生まれる最適な暮らし～

現在の社会。人口減少が進み、過疎化していく地方のまち。地域住民の生活はさらに困難になっていく。これからの社会。分散しているまちの機能を集めて小さくまとまったまちづくりが必要となるだろう。これからの社会を生きていくためのまちづくり。シャッター商店街の中、3つの空き家のリノベーションを提案する。3つの空き家を通して、人々が助け合い、支え合う。空き家を通して人々がつながることでまちの生活が成り立っていく。空き家の活用がまちづくりのきっかけとなり、そしてまちでの生活は快適で暮らしやすくなるだろう。



静岡県立科学技術高等学校
選手 9名 (監督 藤井邦光 先生)

※各チームの紹介は、発表順に記載しています

各チームの作品については静岡県建築士会のwebサイトにて掲載します

アゴスチーニになれなかった

荒崎ダイバー／東部ブロック

夏にバイクを手に入れました。125CCですが、一応外車(イタリア製)です。年式は1977年だと思のですが正式には不明です。メーカー自体が1977年に消滅してしまったので、1977年以前なのは確実です。ある現場で不要なので処分したいと言われたのです。

当然、不動車で埃まみれです。それでもかつては走る宝石と呼ばれたバイク、喜んでトラックに積み込み倉庫に持ってきました。数日かけて隅々まで洗車をし、それから約1か月、錆落としと磨き作業で埃まみれだった外観は結構きれいになるではありませんか。これは物凄くラッキーかもと喜んだのも束の間、舐めていましたイタリア製。外装はきれいになったのでエンジンを掛かるようにしようと劣化部品を新品に交換し、プラグも新品にしました。キャブレターを分解洗浄し、オイルを交換しようと投入口のキャップを探しましたが見つかりません。そんな筈はないとよく見ましたがありません、キャップが。途方に暮れているとエンジンのフィンの所に丸い筋を発見しました。思い切って廻してみるとありました、オイル投入口。さすがイタリア人。キャップなんて野暮なものが許せずこんなダミーで隠すとはビックリです。さすがです。そんなこんなでエンジンが掛かるようになったので、3キロ先のガソリンスタンドまでガソリンとタイヤの空気を入れに試乗です。するとエンジンの回転数が上がりません。最高速は必死に頑張って30キロです。ウインカーも点かず手信号です。現代の物とは逆の位置にブレーキとギアシフトがあり、さらにレーサー仕様なのでギアは1アップ、4ダウンです。ブレーキのつもりで踏み込むとシフトアップです。当然途中でエンジンストップ。一回止まってしまうと再度エンジンが掛かるまで鬼キックです。セルなどありません。このバイクはバッテリーレスにしているのでバッテリーもありません。さらに言うならキーもありません。(盗まれるやろ)わずか3キロを死ぬ思いで往復。帰ってきたら汗だくです。しかも一週間エンジンを掛けないと、再度キャブレターを分解洗浄しないとエンジンが掛かりません。恐るべしイタリア車。

そうこうしていると先日電話が。「やっぱり返してほしい」ですと……。アゴスチーニになれなかったか。

雪山王に俺はなる

斑尾スキーヤー／西部ブロック

冬にコブ斜面をうまく滑りたくて、いろいろなスキー専門誌のコブの滑り方と題した解説を読むのだが、どうもピンとくるものがない。ひどいものになると、真逆だろうと突っ込みたくなるものもある。ここで足を曲げてとか、ストックについてとかいうのは結果として現れてくるものであり、いくつかの本質的なものを押さえればいいだけのよう思うのであるが、そういう本質を語る解説書がないのである。それを公表して、みんながうまく滑るようになったら商売できなくなるから、あえて語らないのかと疑いたくなる。

そういえば、知り合いの建築士Kさんは、さまざまな建築の技術書に対して「あ〜、あの本、間違っているから……」とよく言っている。市販されている技術書だからそんなに間違っていることはないでしょうと思っていたけれど、よく考えてみると、僕がスキーの解説書に対して疑問を感じていることと同じことなのだろう。本質を探究した結果として生じる疑問点である。僕はスキーの本質を探究し、Kさんは建築の本質を探究しているのである(僕も職業は建築関係なのでそちらへの探究もしないといけなないとちょっと反省しつつ……)。つまり、五感を研ぎ澄まし、周囲を観察し、自分の頭で解析・理解・判断をして、ものごとの本質を見極めることが大事だということである。

昨年話題になったモラルハラスメントは、そんな思考回路を麻痺させるウイルスであるから注意しないとイケない。それは、夫婦間や親子間などで蔓延するからたいへん始末が悪い。加害者は自分のことを加害者と思っていないし(むしろ愛の人と思っている)、被害者も自分のことを被害者と思っていない(むしろ加害者のことを愛の人と思っている)。自分大好きサディステックモンスターがコブだとしたら、ムスメは、それにぶつかったり避けたりしながら、うまく滑り降りられるように、生き抜く疑術を、自分自らの手で、自分の力で、身に付けなければいけないのであるが……。どうだ？

さてさて、みなさんがこれを読んでくださっている頃には満天の雪が積もっていただければいいのだけれど……。それでは、みなさま、スキー場でお会いしましょう。

NO SUKI NO LIFE! 雪山王に俺はなる!!

設計打合せ等に最適! 建築関係者は半額料金!

建築事業者も利用可能な建築住宅の相談窓口

- 静岡駅前 葵タワー
- 20席 (32㎡)

貸会議室

- 空室確認・予約 ■

あんしん建物相談室 "ミーナ葵"

	火曜日～土曜日	一般の方	建築関係者
午前	9:00～12:00	4,000円	2,000円
午後	13:00～17:00	6,000円	3,000円
終日	9:00～17:00	10,000円	5,000円

設備 プロジェクター (1,000円/1回)
TVモニター (500円/1回)



☎ 054-251-8011
火曜日～土曜日 10:00～18:00

静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー7階
<http://www.mina-aoi.jp/kaigishitsu/>

運営: 静岡県建築住宅まちづくりセンター



『パリ3区の遺産相続人』

— フランスの終身年金制度「ビアジェ」 —

倉田 剛*

まず表題は最新のフランス映画のタイトルである。この作品は『いちご白書』の脚本家であるイスラエル・ホロヴィッツが、自作のヒット舞台劇を3人の名優を迎えて映画化に漕ぎ着けた。フランス社会では伝統的な個人間の住居売買取引である「ビアジェ (Viager: リバースモーゲージ)」がこの映画の重要な骨格をなしている。筆者も、ビアジェについては文献資料で調べたり、フランス人にインタビューしたりしてきたが、こうした映画に出会えたことは望外の喜びである。日本でも、昨年11月末に渋谷のル・シネマで封切されて、筆者も足を運んだ。このタイトルからして、観客は多くはなかろうと踏んでいたが上映館に入ってびっくり、中高年のカップルやグループでほぼ満席であった。居住している住まいを原資にした自動的な年金制度を利用しながら遅しく生活しているフランス人の老後に深い関心と理解を寄せている中高年層が少なくないことに改めて感銘を受けた。

やはり「ビアジェ」について、軽妙に、しかし手加減なく描かれているフランスの短編小説のひとつにモーパッサンの『酒樽 (1844)』がある。その中でも、隣の土地を喉から手が出るほど買ったがっている地主と、その土地の地主である老人との間で繰り広げられる駆け引きと顛末が描かれている。なかなか首を縦に振らない売り手の老人にすっかり業を煮やした買い手は、とうとう死ぬまで現金を渡し続けることを約束する。その好条件にはさすがに抗し切れなかった老人は、死んだら土地を譲ることを承知してしまう。買い手は悪計を企てて老人の家に酒樽も持ち込み老人をアルコール漬けにする。ついには老人を酔いつぶして死に追いやるまでがストーリーであり、ビアジェの功罪が容易に理解できる秀作である。

さて、映画のあらすじは次のような展開である。57歳のアメリカ人マティアスが疎遠だった父の遺したパリ3区の一等地にあるアパートマン (アパート) にやってきた。離婚3回で子供はなく、ニューヨークの家を処分しても借金だけが残った彼は、このアパートを売却してどこかで気ままに暮らすつもりだった。その住居には、持ち主の老女マティルド92歳が娘と一緒に

に住んでいた。部屋数が多い上に広い庭付きと知って高い売値を期待した彼は、マティルド母娘に立ち退きを迫った。だが、逆に彼女から驚くべき事実を告げられる。このアパートは、43年前に、彼の父とマティルドとの間で住居売買契約 (ビアジェ) が取り交わされていて、遺産相続人であるマティアスは毎月2400ユーロをマティルドが死ぬまで払い続ける義務も引き継ぐことになるかと迫られる。マティアスの父はそのアパートにすでに莫大な資金を投じていたことを知り、また相続人であるマティアスも、父と同様に毎月の支払い義務を負うことに愕然とする。すっかり当てが外れたマティアスは、パリの不動産業者を回って、ビアジェ付きのアパートの相場について調べてみたり、買い手も探して歩くのだが・・・。

ここで、ビアジェについて簡単に説明しておこう。フランス語でビアジェとは「終身年金」などの意味であり、フランスではその発祥は18世紀頃からとも言われているほど伝統的な個人間の住宅売買契約 (取引) を指している。通常は、高齢者が住んでいる住宅 (持ち家) を、買い手が毎月一定額を売り手が死ぬまで払い続ける契約であり、頭金が少ないし、毎月の割賦払いなのが魅力だが、最終的な買値は売り手の寿命によって決まるといったギャンブル性 (射幸性) が問題点であり、この契約の特徴でもある。こうしたギャンブル性に富んだ住居の売買取引が普及してきた背景として、法的な保護がある。たとえばビアジェを結んでから1年以内に売り手が死亡した場合は、契約は白紙撤回される。また買い手が債権を転売するケースでも取引の安全性や継続性は法律で保護されている。

最近、日本でも高齢者の持ち家を担保にして生活資金を融資するリバースモーゲージが新聞やテレビで広告・宣伝されている。リバースモーゲージとビアジェを比較すると、ビアジェはリバースモーゲージと違って、売り手 (高齢者) に優位な契約であり、終身年金という目的が確実に約束されている簡明な取引であることに気付く。ビアジェは、住んでいる家を担保にした「借入」ではなくて、住居の「売却」だから、売り手は借入利息の負担がない、市場金利の上昇や不動産市場の下落なども、また長生きして明け渡しの時期が先送りされても、それらのリスクを一切負わない仕組みである。ちなみにリバースモーゲージの場合は、契約上の3大リスクを買い手が片務的に負担する仕組みである。ビアジェの場合は、売り手である持ち家高齢者が法律で護られている点が、フランス人の自動的な年金制度として古くから利用されてきた理由のひとつであり、またその住宅市場が慢性的な需要過多の売り手市場である点も大きな要因となっている。

* 一級建築士・法政大学経営学博士・愛知工業大学経営情報科学博士
 住宅資産研究所・所長 NPOリバースモーゲージ推進機構・理事長
 国際ジャーナリスト連盟会員

第8回 静岡県景観賞

— 第8回（平成27年度）景観賞の受賞地区 —

- 静岡県草薙総合運動場体育館「このはなアリーナ」
- san grams green tea & garden cafe
（サングラム グリーンティ&ガーデンカフェ）
- 豊田佐吉記念館
- 箱根西麓に広がる畑のキャンパス
- 坂口谷川（さぐちやがわ）環境美化活動



静岡県草薙総合運動場体育館「このはなアリーナ」

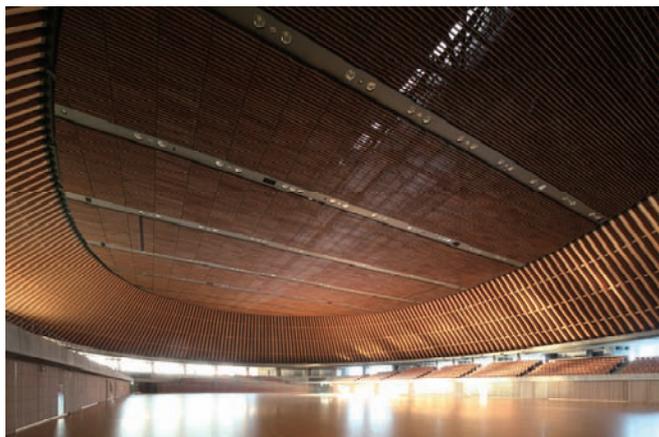
最優秀賞

部門：公共施設部門 所在地：静岡市駿河区

■ 陸上競技場や野球場等を有する県営都市公園に、現有施設の建替え工事として計画された。82m×46mのメインフロア（バスケットボールコート4面）と34m×21mのサブフロア（同1面）、観客席数2,700席を備えたスポーツ施設で、2013年1月に着工、2015年4月にオープンした。

天竜スギの集成材が楕円状に斜めに支え大空間を演出し、外観は計算されたデザインと、外装材に太陽光の反射を抑えるチタン亜鉛合金板を使用するなど、巨大な建物が周囲の景観に溶け込み、圧迫感を解消している。

「スポーツ王国静岡」の名にふさわしい県民スポーツ振興の拠点として、県民に愛される街のシンボルとして、堂々とした佇まいが周囲に調和して良好な景観を形成している点が高く評価された。



san grams green tea & garden cafe

優秀賞

部門：民間施設部門 所在地：菊川市

■ JR菊川駅近くのこの施設は、創業百余年の「丸松製茶場」が運営する日本茶のカフェである。老舗を引き継いだ社長が、お茶のおいしさ、奥深さを多くの方に知ってもらいたいという願いを込め、特に若い方々にお茶文化を普及するため、気軽におしゃれにお茶を楽しめるカフェを開設した。

正面から店舗を臨むと、ガラス越しに240坪のイングリッシュ・ガーデンの美しい緑が透けて見える。店舗正面は茶碗の中でたゆたう茶柱をイメージした木の枝が空間を浮遊し、店に入る前のワクワク感を高める。店に入り席に座ると、眼前に広がる庭の上には空が広がり、緑と空の青さが作り出す空間は開放感に満ちている。

静岡のお茶文化を広めるため斬新な感覚でデザインされた店舗は、地方に暮らす人々の誇りとなり、安らぎの空間となっていることが評価された。



トヨタグループ創始者である豊田佐吉は、1867年（慶応3年）遠江国敷地郡山口村（現湖西市）に生まれた。ここには母屋と離れの他、豊田式織機の研究を行った納屋や生活用水として利用した井戸等複数の建屋が現存する。

1988年（昭和63年）に佐吉生誕120年記念として、点在する建屋群と裏山を一体的に整備し、豊田佐吉記念館として開館した。その後の維持保全活動は、トヨタグループと地元企業からなる豊田佐吉記念館保存会により行われ、今年5月には、生家の茅葺屋根を地元の材料と地元の職人にこだわって全面葺き替えした。

歴史的な家屋、建屋群と敷地の継承は、地域の人々の誇りであり、佐吉の生きた時代背景と志を次世代に伝える重要な拠点であることが評価された。



豊田佐吉記念館

優秀賞
部門：まちなみ部門 所在地：湖西市



三島市の北東部、箱根西麓の斜面に広がる畑のキャンパスには、多彩な農作物が色とりどりにきらめく大地のアートを描き出し、美しい景観の中で採れた野菜は、「箱根西麓三島野菜」ブランドとして首都圏等の人気レストランからも高い評価を受けている。

標高50m以上の緩やかな斜面は、古くから大根や馬鈴薯、白菜等が栽培され、この地域の野菜は水はけが良くミネラルが豊富な赤土（関東ローム層）と冷涼な空気の影響を受けて、甘く瑞々しく育ち、味と品質に大変優れている。近年では地元のJAと若い農家達が協力し、地元野菜のブランド力を高めるため様々なイベントを開催し、多くの方がこの地を訪れている。

秀麗富士を背景とした風景の中で、黄色や緑、紫といった様々な色彩を描く旬の野菜たちが、まるでパッチワークのように四季折々の風情を醸し出し、大地の芸術を創り上げている点が評価された。

箱根西麓に広がる畑のキャンパス

優秀賞
部門：田園・農山漁村部門 所在地：三島市



吉田町と旧榛原町の境を流れる坂口谷川、この川を美しく守ろうと、今日も84歳の糸田さんが草刈りを行う。糸田さんは定年退職を機に生まれ育った故郷に何か貢献できないか考え、当時、坂口谷川は葎や竹等が覆い茂り荒れ果てていたことを憂い、これからの人生を捧げる思いで環境美化活動に取りかかった。

当初は一人で堤防の雑草を掘り起こし、春には芝の種を蒔き手入れを続け、年間300日、1日2～3時間という気の遠くなる作業を続けた。荒れ果てた堤防も今では見違えるようにきれいになり、春は菜の花、梅雨時は紫陽花、夏は緑の芝生、秋は三色の彼岸花が咲き誇り、人々の憩いの場所となった。最近では自治会を中心に地域の方も作業に加わり、催しも行われ、皆から愛される活動として広がりを見ている。

故郷の川に美しい景観と子供たちの自然の遊び場を取り戻そうと、20数年続けられてきた活動に敬意を表し、地域の景観は地域で守る景観保全の原点とも言える活動が評価された。

坂口谷川（さぐちやがわ）環境美化活動

優秀賞
部門：景観づくり活動部門 所在地：牧之原市



表彰式&記念講演

11月26日、静岡市内で「第8回静岡県景観賞」の表彰式と記念講演が行われ、最優秀賞となった公共施設部門の「静岡県草薙総合運動場体育館」このはなアリーナ」を始め5部門の受賞者に賞状と記念プレートが贈られた。審査委員長の東京大学名誉教授篠原修氏が受賞地区について講評し、それぞれの施設の特徴や活動成果などを解説した。「このはなアリーナ」はモンゴルのゲルのようなシンプルなデザインで、機能性も抜群、100年持つ建築物と高評価を与えた。

表彰式の後、(株)電通CMプランナーの八木田真史氏の記念講演があり、映像制作者が見た静岡県の景観まちづくりの可能性について語られた。

静岡県景観賞は、静岡県都市景観賞の時代から数え28回目という伝統のある賞で、本誌「建築静岡」でも「シリーズ景観」として長年に渡り特集している。本賞を主催する「美しいしずおか景観推進協議会」には、本会も正会員として参加しており、3日間に渡る現地調査及び書類審査に同行している。



※この特集は静岡県から御提供いただいたデータを基に編集したものです。

今年度も地域貢献活動基金助成の募集を行い、2件の活動が助成対象として認められました。今回はその2件をご紹介します。

1. NPO 法人 伊久美・楽山舎

「近代茶業を築いた集落の価値再発見～伝える・つながる・高めあう～」

島田市伊久美二股地区は、中山間地域にある茶業を中心とした集落地区であり、近代茶業の発祥の地とも言われている。

集落の街並みは歴史的な価値が高く、茶産業を背景とした民家や、元銀行の公民館が現存する。

お茶工場のある民家や形態の価値を再発見、共有、価値創造することで地域活性化へと結びつける活動を行っている。



2. 見付の長屋プロジェクト

「町に残る長屋を改造して、多世代・多様な人達の集う地域の居場所を作ろう」

磐田市見付地区は東海道の宿場として栄えた町だが、現在は地元の人が気軽に立ち寄れる場所がなくなってしまった。

そこで、この地の中心に立地する大久保家の門長屋を改造し、地域の人が気軽に寄り、おしゃべりし、多世代の交流が持てるような居場所を作り出すことを目的とした活動を行っている。



それぞれの活動とも、埋没化してしまいそうな地域の価値ある文化的資産をクローズアップさせ、それらを上手に活かしながら地域貢献へと結びつけています。

助成を受けた地域貢献活動は、毎年1回、発表会でその成果を披露することになっています。これらの活動に興味を持った方、他地域でこれから地域貢献活動を行おうとしている方、お気軽に発表会に足を運んでいただければと思います。きっと、多くのヒントを得る事ができるはずです。

今年度の地域貢献活動発表会は

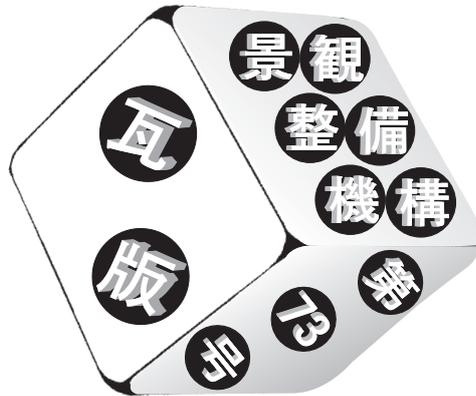
2016年3月5日(土) 島田市伊久美地区

で行う予定です。

静岡県建築士会まちづくり委員会では、この発表会に向けた準備を着々と行っております。詳しい内容が決まりましたら、追ってお知らせさせていただきます。



2015.10.30 第3回全国HM大会



静岡県建築士会の事例発表

建築士会と職人組合が協定書を締結した

本会は「地域の文化財建造物を判定できる専門家」、略して「地域文化財専門家」を育成する研修*を平成20年度から実施している。この人材養成は、阪神・淡路大震災のあと、兵庫県で実施されたのが最初で、「ヘリテージマネジャー」(HM)と兵庫が呼んだことから、この呼称が全国的に一般化した。

このHM養成講座を実施している建築士会は、全国で36道府県に上っている。静岡県は兵庫、徳島に次いで3番目の開始であった。

これまで全国で2,100名のHMが育っており、本県の地域文化財専門家も152名に達している。

[S]

このような全国的な動きを受けて、「全国HMネットワーク協議会」(事務局：日本建築士会連合会)が組織され、当協議会が主催する第3回「全国HM大会」が昨年10月30日、金沢で開催された。

その前日、全国HMネットワーク協議会の総会が毎年夕方から開催される。協議会総会はHMの情報交換の場であり、各地の取り組みの状況が報告され、課題や懸案事項が議論されたあと懇親会に雪崩れ込んで盛り上がる。HM大会はというと、毎年テーマを決めてそのテーマに沿った発表と意見交換をするというものである。

[H]

今回の大会は金沢開催ということから「HMと職人との連携による伝統建築の保全と文化の継承」をテーマに掲げた。金沢職人大学校にみられるように、加賀では技の匠を磨き伝統建築が保全されている。

能登では輪島塗など伝統工芸はじめ、地域文化が深く根付いている。一方で、突然襲ってきた能登地震により伝統建築が大きな被害を受けたが、建築士と職人が協力して修復・保全に対処してきた。

このような石川県の取り組みの事例が報告されたあと、宮崎、神奈川、静岡の3県から、職人との連携の事例報告があった。

[E]

本会は、職人組合との協定書の締結について事例発表した。本会は大工、左官、瓦職人の組合と4者で平成27年9月17日、「歴史的建造物の保全・活用に関する協定書」を締結した。平常時における協力、連携の体制、地震等の非常時における協力関係、被災した歴史的建造物の被災状況調査及び応急措置等の連携を協定に盛り込んだものである。

[C]

静岡県ヘリテージセンターSHECによるまちづくり会議がH28年2月6日(土)、旧五十嵐邸(静岡市清水区蒲原町)で開催される。かつて地場産業として巴川沿いの窯で盛んに生産されていた清水瓦のことや、焼津湊の堀川沿いの蔵群の土蔵に関する話を聞くなど、瓦職人や左官職人にも参加していただく予定である。歴史的建造物の保全・活用には職人との連携が不可欠である。実際の現場事例を素材に連携の具体例を示していければと思う。

塩見 寛(沼津地区) 景観整備機構副代表

*隔年実施しており、H28年度実施、5月に募集。研修は6月~12月まで。多数の応募を期待したい。



2015.9.30 建通新聞



2015.9.17 協定書 調印式



新年明けましておめでとうございます。

<p>グラウンド・ワークス株式会社  代表取締役 山下 英俊</p>	<p> 総合資格学院 学校長 石井 啓司</p>	<p>職業訓練法人全国建設 産業教育訓練協会  会長 才賀 清二郎</p>
<p>株式会社ニューメディア総合企画  代表取締役 石山 博</p>	<p> 株式会社 野村商店 代表取締役 野村勝也</p>	<p> 株式会社 確認サービス 静岡支社 支社長 山田 重也</p>
<p>有限会社 橋本印刷所 代表取締役社長 橋本 勇也</p>	<p>KMEW ケイミュー株式会社静岡営業所 所長 伊崎 修治</p>	<p>静岡ガスリビング株式会社 代表取締役 前野 克己</p>
<p>NEPS ナナミ電気設計 名波 睦生</p>	<p>佐藤設計一級建築士事務所 (公社) 静岡県建築士会 会長 佐藤 博行</p>	<p>斉藤建築設計事務所 (公社) 静岡県建築士会 副会長 斉藤 功</p>
<p>岡山一級建築設計事務所 (公社) 静岡県建築士会 副会長 岡山 晋也</p>	<p>有限会社 エスアンドアイ 総合建築事務所 (公社) 静岡県建築士会 副会長 飯尾 清三</p>	<p> コア建築計画研究所 (公社) 静岡県建築士会 常務理事 西山 洋雄</p>
<p>有限会社ミズキ一級建築士事務所 (公社) 静岡県建築士会 常務理事 水上 茂樹</p>	<p>金子一級建築士事務所 (公社) 静岡県建築士会 常務理事 金子 弘一</p>	<p>エイワ建築設計事務所 (公社) 静岡県建築士会 理事 勝又 英和</p>
<p>有限会社 細澤建築事務所 (公社) 静岡県建築士会 理事 細澤 啓司</p>	<p>寺田一級建築士事務所 (公社) 静岡県建築士会 理事 寺田 尚稔</p>	<p>一級建築士事務所ヒロ建築事務所 (公社) 静岡県建築士会 理事 望月 廣道</p>
<p>タテイシ建築設計 (公社) 静岡県建築士会 理事 立石 昌江</p>	<p>松下建築設計事務所 (公社) 静岡県建築士会 理事 松下 好宏</p>	<p> 一級建築士事務所 TOKU 企画設計室 (公社) 静岡県建築士会 理事 松浦 篤之</p>



2016年

静岡県経営管理部 理事（営繕担当） 渋谷 忠志	静岡県くらし・環境部 建築住宅局長 柳 敏幸	（一財）静岡県建築住宅 まちづくりセンター 理事長 青山 巖
 ハナジマ設計一級建築士事務所 （公社）静岡県建築士会 理事 花嶋 久治	ズズキ一級建築設計事務所 （公社）静岡県建築士会 理事 鈴木 純哉	 杉橋建築設計事務所 （公社）静岡県建築士会 監事 杉橋 芳夫
小林修一級建築設計事務所 （公社）静岡県建築士会 監事 小林 修	 タカ設計一級建築士事務所 （公社）静岡県建築士会 監事 鈴木 敬雄	株式会社 水野都市設計 代表取締役 水野 克尚
D A I 一級建築士設計事務所 大橋 隆夫	 YOSHINO ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE 芳野一級建築士事務所 芳野 康 広	シミズ建築設計アトリエ 一級建築士事務所 清水 武
 戸塚建設株式会社 代表取締役 戸塚 健	 有限会社 ヒラマツ建築事務所 平松 郁生	有限会社 杉山一級建築設計事務所 杉山 るみ
ことぶき総合事務所 二級建築士事務所 鈴木 寿美	 株式会社 渡辺建築設計事務所 中尾 有希子	川口建築設計事務所 川口 恒
 水野建設工業株式会社 代表取締役社長 水野 勝也	株式会社 大建 代表取締役 大石 充男	株式会社 山春建設 山田 高士
スカイトチューブ静岡  スカイトチューブ® 藤井 真二	鳥坂建築株式会社 代表取締役 杉山 真一	一級建築士事務所 SUZUKi 設計室 鈴木 忠

◆編集後記

世界遺産を特集として掲載いたしました。富士山についての記事(遺産センターの計画状況、三保の松の枯れる問題など)を掲載しようと当初考えていたのですが、編集している最中に富士山は見るだけでいいかという結論に達し、各方向からの写真の掲載のみとしました。写真を見るだけで癒されることに、静岡県人であることを自覚させられます。

そして、高校生の皆様ありがとうございました。諸問題多き建築業界ですが、鉛筆1本だけで夢を描くことも可能な世界です。みなさんが活躍する未来を心待ちにしております。

ところで、志茂野の建築静岡編集長と綾瀬はるかのかの紅白歌合戦司会が同時期になるのは運命のようなので(?)、是非に及ばずピンチヒッターとしての今回の編集長を受け入れました。仕事の上でご迷惑をおかけした関係者様方には、この場をお借りして深くお詫びいたします。申し訳ありませんでした。

そんなこんなですが、今後共建築静岡をどうぞよろしくお願い致します。

編集長：広報情報委員 志茂野昌歳

◆お知らせ、その他

取材協力・素材提供

- ・静岡県様
- ・伊豆の国市様
- ・沼津市様
- ・大日本報徳舎様
- ・NPO法人 静岡県建築技術安心支援センター様

ご協力感謝いたします。

◆ご意見募集

静岡県建築士会広報情報委員では、広報誌「建築静岡」をより有益な情報源とするためのご意見、ご提案を募集しています。お名前、ブロック名をご記入の上、下記あてにFAXでお願いします。なお、いただきましたご意見は非公開とし、個々のご意見への直接回答は控えさせていただきます、ご了承下さい。

公益社団法人 静岡県建築士会
広報誌意見募集係 FAX 054-273-0478

◆広報情報委員会

担当理事：寺田尚稔 (東部)

委員長：杉山真一 (中部)

副委員長：内山孝 (西部)

：鈴木忠 (東部)

委員：

(東部) 高岡直弘 ・ 三田芳之

塩見敏弘 ・ 長尾隆行

(中部) 小沼勝也 ・ 星野浩二

佐野真浩

(西部) 福田光宏 ・ 志茂野昌歳

山口知己 ・ 山下英俊

編集長：志茂野昌歳 (2016Winter)

◆事務局からのお知らせ

年会費の納入をお忘れの方は至急お手続きをお願いします。お問い合わせは、本会事務局・各ブロック事務局まで。

本会事務局：054-254-9381

東部ブロック：055-933-8201

中部ブロック：054-260-5478

西部ブロック：053-451-5166

会員数 H27年11月18日現在

■正会員	1,336
■賛助会員	162
■合計	1,498

入会者

■正会員 0名

■賛助会員 0社

物故者

■正会員 1名

増田 博志 (伊東)

ご冥福をお祈り申し上げます。

退会者

■正会員 1名 (物故者含む)

■賛助会員 2社

発行所：公益社団法人静岡県建築士会
〒420-0857 静岡県葵区御幸町9番地の9
TEL 054-254-9381 FAX 054-273-0478
http://www.shizu-shikai.com
印刷所：(有)橋本印刷所

2016年の幕開けです。よい年になりますように願いを込めて・・

長期優良住宅の申請業務をサポート

長期優良住宅申請業務サポートは、お客様が作成された設計図書等をもとに、評価機関への申請や質疑応答などを行い適合証の交付を受けるまでをサポートします。申請の専門分野（特に省エネルギー計算や構造計算など）の図書作成をお手伝いします。

お悩みではないですか？

申請図書の
作り方が
わからない

書類作成の
人手と時間
がない

評価機関との
対応が
わからない



費用などのお見積り お気軽にお問い合わせください

一級建築士事務所 静岡県知事 登録(2) 第6761号

NPO 法人 静岡県建築物安全確保支援協会

TEL.054-202-5532 FAX.054-285-8787

〒422-8067 静岡市駿河区南町 14-1 水の森ビル

<http://www.shizuoka-aks.or.jp/>

安全確保支援協会

検索

～特典～
静岡県建築住宅
まちづくり
センターの
技術審査料割引

—広報情報委員会・東部ブロック事業—

第7回フォトコンテスト作品募集

- 応募期間 平成27年8月1日より平成28年2月25日まで
- 選考 平成28年4月に行われる広報情報委員会会議にて選考
- 発表 建築静岡夏号(予定)および士会ホームページにて発表。
- 応募方法 撮影者名(地区名)、住所、作品タイトルを添えて東部ブロック事務局まで、Eメール又は郵送にて送付して下さい。又、写真の撮影場所や建物の紹介文(説明文)なども併せてお送り下さい。
東部ブロック事務局 〒410-0831 沼津市市場町5-1 東昇ビル 3F
TEL: 055-933-8201/FAX: 055-934-2202
E-mail: toubu-b@shizu-shikai.com



「保有耐力接合」そのままに、

ベースパックが生まれ変わります!

**ベースパック
フルモデルチェンジ**
□150 ~ 300 を刷新



当社従来品比較

設計価格ベースで

最大**25%**
コストダウン

回転
剛性値
アップ

配筋性
向上



岡部株式会社

〒131-8505 東京都墨田区押上 2-8-2
TEL. 03-3624-5336

現在に至る経験と知識を 研鑽し、証明する絶好機!

実務に従事される方が、自らの知識と経験を第三者に証明するために最も有効な方法は、専門性の高い、より上位の資格取得です。設備に関する熟練者としての建築設備士、設備設計1級建築士、構造に関する専門家としての構造設計1級建築士。資格取得は更なる躍進への絶好機です。



平成28年度試験対策 1級建築士合格実績 No.1 指導校の上位資格対策講座!!

カリキュラム強化! 構造設計 1級建築士対策講座

1級建築士として、5年以上、構造設計および構造に関する工事監理等の実務を経験すると、構造設計1級建築士の受講資格が得られます。しかしその難易度は極めて高く、構造のプロにとっても非常に難しい内容だけに、取得のためには十分な対策を講じる必要があります。1級建築士試験で全国ナンバーワンの実績を誇る当学院が、構造の世界で働く皆様を全力でサポートします。



カリキュラム強化! 設備設計 1級建築士対策講座

1級建築士として、5年以上、設備設計および設備に関する工事監理等の実務を経験すると、設備設計1級建築士の受講資格が得られます。しかし、資格取得には非常に難易度の高い修了考査があり、設備設計の実務者であっても合格は難しいため、専門の対策が必要不可欠です。1級建築士試験で全国ナンバーワンの実績を誇る当学院が、設備設計1級建築士においても確実に合格へと導きます。



NEW 建築設備士講座開講! 平成28年度 試験対策

第一次試験・第二次試験のストレート攻略へ
建築設備士総合セット | 平成28年度 第一次試験(学科)対策 **建築設備士学科講座** | 平成28年度 第二次試験(設計製図)対策 **建築設備士設計製図講座**

※各講座の受講料、カリキュラムの詳細等は、最寄りの当学院各校にお問い合わせいただくか、当学院ホームページ(<http://www.shikaku.co.jp/>)をご確認ください。



平成28年度もより多くの合格者を輩出できるよう、スタッフ一丸となってサポートします!

1級建築士試験
ストレート合格者占有率
(学科+製図)

95% 90%
最低ライン80%以上
都道府県単位で100%を目指す

2級建築士試験
ストレート合格者占有率
(学科+製図)
2級建築士学科試験
合格者占有率

技術者育成をお考えの建設事業主の皆様へ

建設労働者
確保育成
助成金

1人あたり上限20万円
受講料の**8割**を助成

当学院の助成金対象講座 1級土木施工管理 学科講座/実地講座
2級建築施工管理 総合講座 1級建築施工管理 学科講座/実地講座
※助成金対象講座など、詳しくは当学院までお気軽にお問い合わせください。



紹介キャンペーン
5千円 or 1万円の現金
プレゼント!

私たち総合資格学院はおかげさまで
創立35周年を迎えました。
これからも有資格者の育成を通じて
業界の発展に貢献して参ります。



静岡校 TEL:054-275-3311 沼津校 TEL:055-930-2621 浜松校 TEL:053-456-2211 総合資格 検索 Facebook 「総合資格」で検索!

1級・2級 建築士 | 構造設計1級建築士 設備設計1級建築士 | 建築設備士 | 1級・2級 建築施工管理技士 | 1級・2級 土木施工管理技士 | 宅地建物取引士 | インテリアコーディネーター

公益社団法人 静岡県建築士会

定価一部260円、送料一部100円
会員の方には購読料として会費の中に含まれています。

建築静岡 Winter 2016

第65号 平成28年1月1発行
昭和33年12月25日第3種郵便物認可

発行所 公益社団法人静岡県建築士会
静岡県葵区御幸町9番地の9
TEL 054-254-9381
印刷所 (有)橋本印刷所